

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

(昭和61年度中展示延点数)

区 分	実 物 資 料 及 び 標 本 類	ジオラマ機器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写 真 及 び 写 真	図 板	計
地 学	424	18	13	27	482
生 物	979	78	37	18	1,112
歴 史 ・ 民 俗	690	32	65	65	852
美 術	391			1	392
合 計	2,484	128	115	111	2,838

(1) 地学展示室 (258㎡)

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか）。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。

(2) 生物展示室 (257㎡)

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣の展示。
- 貝類の生息環境による分類展示。とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産の展示。
- 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボ、ハチ、バッタ類など。）
- 植物の分類展示（樹幹、およびキノコ）。郷土の植物を解説展示。
- 動・植物の行動や生育環境等をVTRによって動態的に展示。

(3) 歴史民俗展示室 (515㎡)

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家一号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三点セットなど）。
- 県内出土の須恵器の分類展示。
- 県内出土の代表的なはにわ（鹿、家、水鳥など）の展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯・国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）
- 因幡国庁出土の墨書土器絳紬陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。
- 二上城及び布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鍾二口（廃阿代寺、国英神社）の展示。

<土農工商の社会>

- 鳥取城模型・鳥取城下図（模写）・鳥取城瓦など、鳥取城関係の展示。
- 池田光伸肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 鳥取を代表する歌人香川景樹の肖像・短冊の展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市についての展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳・初代県令河田景与の肖像写真パネル。
- 藩から県に移行する時期の行政の日誌の変化を展示。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 伯州綿から浜がすり製品まで、生産工程順にかすり織り用具を展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器（ほかい）、婚礼に使用された各種のつものたるなどの展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などを解説展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって動態的に展示。

<歴史の窓>

- 縄文土器とその時代 61年2月15日～61年6月6日
- 虫送り 61年6月7日～61年10月13日
- 岡崎平内家資料 61年10月14日～61年12月26日
- 正月行事と七草 62年1月5日～62年2月9日
- 藩札 62年2月10日～62年3月31日

(4) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 ◎重要文化財 △重要美術品 ○保護文化財

<仏像・仏画等>

○大日如来坐像（木造）	若桜町永福寺蔵	釈迦十羅刹女図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵
○木喰稲荷像（木造）	倉吉市円谷地区蔵	五大明王図（絹本）	用瀬町大安興寺蔵
蔵王権現立像（木造）	岩美町観照院蔵	○釈迦十六善神図（絹本）	用瀬町大安興寺蔵
毘沙門天立像（木造）	個人蔵	涅槃図（絹本）	西伯町室禅寺蔵
○阿闍世王茶羅図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵	涅槃図（絹本）	鳥取市興禅寺蔵
弘法大師曼茶羅図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵	涅槃図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵

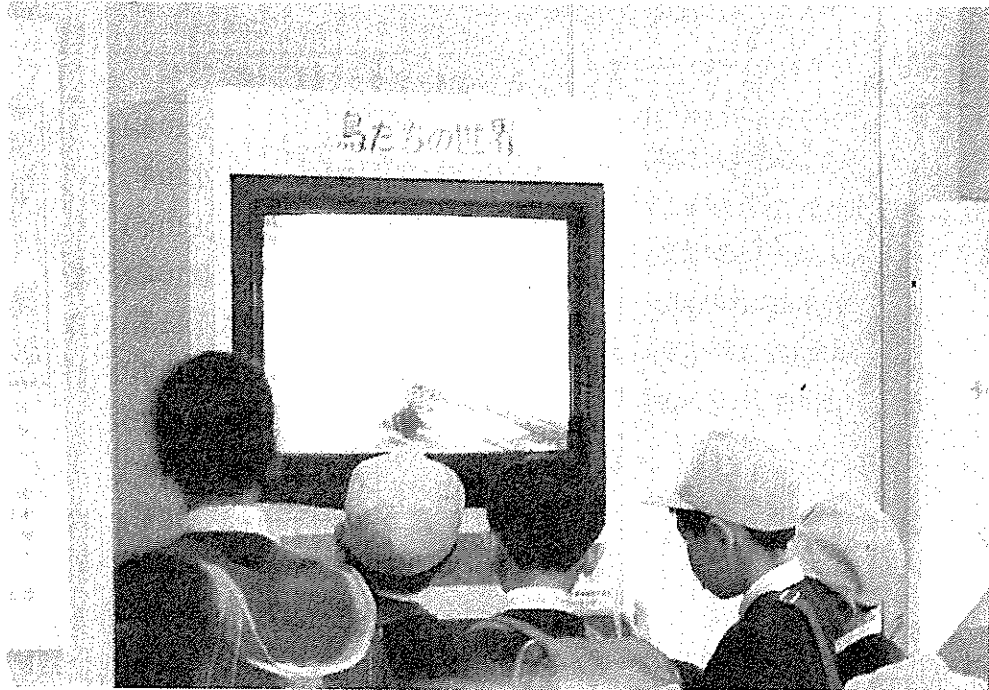
<工芸>

密教法具	当館蔵	○飾太刀	鳥取市栲谿神社蔵
備前焼壺	個人蔵	懸仏	個人蔵
○染織布	鹿野町譲伝寺蔵	染の型紙	個人蔵
○擬宝珠（二口）	関金町地藏院蔵		

<近世絵画>

山水花鳥図屏風	土方稲嶺	当館蔵	瀑布図	根本幽峨	当館蔵
牡丹猫図	土方稲嶺	個人蔵	琴棋書画之図	根本幽峨	個人蔵
山水画賛	土方撲斎	個人蔵	楼閣山水図屏風	根本幽峨	個人蔵
千匹鯉図	黒田稲臯	個人蔵	○猛虎図	片山楊谷	個人蔵
群鯉図	黒田稲臯	当館蔵	寿老人草花図	島田元旦	個人蔵
○群鯉遊泳図	黒田稲臯	当館蔵	鯉魚之図	小畑稲升	当館蔵
四季草花図	沖一峨	個人蔵	双鯉図	小畑稲升	個人蔵
小松引図	根本幽峨	個人蔵	○東方朔図	土方稲嶺	当館蔵
遊鶴図屏風	土方稲嶺	個人蔵	東海道道中図	島田元旦	個人蔵
猿鹿図屏風	土方稲嶺	個人蔵	花鳥図屏風	島田元旦	個人蔵
芦間潜鯉	土方稲嶺	個人蔵	秋景山水図	島田元旦	当館蔵
花鳥図屏風	黒田稲臯	個人蔵	四季花鳥図屏風	小畑稲升	個人蔵

月に秋草図 ＜近代彫刻＞	沖 探容	個 人 蔵	山水花鳥図屏風	根本雪峨	当 館 蔵
つとい	長谷川塊記	当 館 蔵	非化Q	辻 晉堂	個 人 蔵
裸	早川巍一郎	当 館 蔵	寒 山	辻 晉堂	個 人 蔵
寒 拾	辻 晉堂	個 人 蔵	拾 得	辻 晉堂	個 人 蔵
鶏と女	辻 晉堂	個 人 蔵	婦人像	辻 晉堂	個 人 蔵



生物展示室に設置したVTRを見る児童たち

(5) 近代美術展示室

鳥取県のゆかりの洋画家・彫刻家等の代表的な作品を、テーマを定めて紹介した。

ア 前田 寛治

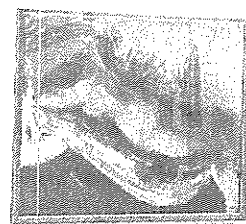
会 期 昭和61年 6 月10日(火)～8 月24日(日)

前田寛治（1896－1930）の作品の収集を続けている当館では、定期的にその業績を紹介しているが、今回は、子供の作品を主体に初期から晩年まで通観できるよう62点を選んで展示、紹介した。

出品目録

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
1	畑	33.0× 23.3	1921年頃(大正10年)	鳥取県立博物館
2	ダ リ ヤ	60.8× 50.2	1921年頃(大正10年)	
3	子 供	33.5× 45.5	1921年 (大正10年)	
4	花 と 子 供 等	80.5×117.0	1921年 (大正10年)	
5	立 て る 子 供	117.0× 80.5	1922年 (大正11年)	
6	静 物	40.0× 60.6	1923年 (大正12年)	
7	メ ー デ ー	72.7× 91.0	1924年 (大正13年)	
8	裸 婦	101.5× 73.0	1925年 (大正14年)	
9	労 働 者	60.0× 49.0	1924年頃(大正13年)	
10	工 場 風 景	52.5× 80.5	1924年頃(大正13年)	
11	静 物	72.5×100.0	1926年 (大正15年)	鳥取県立博物館
12	縞 帯 を し た 男	73.0× 50.0	1924年頃(大正13年)	
13	物 を 喰 う 男	117.0× 91.0	1924年頃(大正13年)	
14	立 て る 労 働 者	162.0× 93.0	1924年頃(大正13年)	
15	ブルターニュの女	166.0×101.0	1925年 (大正14年)	
16	西 洋 婦 人 像	91.5× 73.0	1925年頃(大正14年)	
17	自 画 像	45.5× 33.3	1925年頃(大正14年)	
18	裸 婦	73.0×100.0	1926年頃(大正15年)	
19	少 女 と 子 供	145.0×112.0	1927年 (昭和 2 年)	
20	横 臥 裸 婦	97.0×162.0	1928年 (昭和 3 年)	
21	雪 景	65.5× 80.5	1926年 (大正15年)	鳥取県立博物館
22	裸 婦 習 作	51.0× 73.5	1927年頃(昭和 2 年)	
23	福 本 和 夫 像	91.0× 72.5	1927年 (昭和 2 年)	
24	棟 梁 の 家 族	131.0×162.5	1928年 (昭和 3 年)	
25	伏 臥 裸 婦	113.0×146.0	1928年 (昭和 3 年)	
26	白 い 服 の 少 女	73.0× 60.5	1928年 (昭和 3 年)	
27	花	45.5× 38.0	1929年 (昭和 4 年)	
28	海	18.0× 25.5	1929年 (昭和 4 年)	
29	海	16.5× 23.5	1929年 (昭和 4 年)	

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
30	子 供	33.0× 23.6	1920年頃(大正9年)	
31	少 女	65.5× 46.0	1920年頃(大正9年)	
32	子 供	33.0× 24.0	1921年頃(大正10年)	
33	子 供 の 像	33.0× 23.8	1921年 (大正10年)	
34	友 々 ら 帽 の 子	23.7× 33.2	1920年頃(大正9年)	
35	子 供 (子 守)	23.5× 33.2	1920年 (大正9年)	
36	子 供	14.5× 59.5	1922年 (大正11年)	
37	赤 い 帽 子 の 少 女	53.5× 46.0	1925年 (大正14年)	
38	赤 い 服 の 少 女	60.7× 49.8	1923年 (大正12年)	
39	婦 人 像	24.0× 19.5	1925年 (大正14年)	
40	赤 い 衣 の 女	24.0× 19.5	1924年 (大正13年)	
41	嬢 S	22.0× 15.5	1926年 (大正15年)	
42	赤 い 帽 子 の 少 女	33.3× 24.0	1927年頃(昭和2年)	
43	ふ た り の 子 供	23.8× 33.0	1929年頃(昭和4年)	
44	子 供 の 顔	23.0× 16.0	1929年 (昭和4年)	
45～62素描アインシュタイン像・裸婦・海(クレバス)・「走馬燈」挿図など				



前田寛治展

イ 土と炎の造形 現代の陶芸

会 期 昭和61年10月14日(火)～12月20日(土)

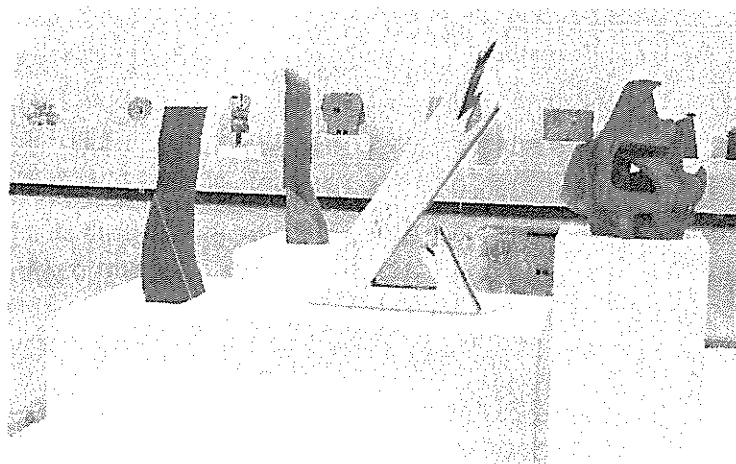
やきものによる新しい造形「陶芸」は、現代美術の潮流の中で多様な展開を見せている。陶芸界の今日の状況は、八木一夫、鈴木治らによって結成された「走泥社」のメンバーの情熱的な努力によって築き上げられたといっても過言ではない。しかし同時に、彫刻に「陶彫」という新しいジャンルを切り開いた辻晋堂の影響を見逃すことはできない。その辻晋堂の陶彫と造形的陶芸作家を代表する5人の作品を展示、紹介した。

出品目録

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
辻	晋 堂			
1	寒 山 拾 得	35.5× 47.0× 36.5	1955年 (昭和30年)	
2	時 計	40.0× 34.0× 10.0	1956年 (昭和31年)	

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵	
3	猫 の 頭	49.0× 44.0× 43.5	1956年 (昭和31年)	鳥取県立博物館	
4	沈 黙	115.0× 86.0× 25.0	1957年 (昭和32年)		
5	寒 山	112.0× 84.0× 28.0	1958年 (昭和33年)		
6	拾 得	120.0× 83.0× 32.0	1958年 (昭和33年)		
7	詰込主義教育を受けた子供	69.0× 25.0× 18.0	1960年 (昭和35年)		
8	樵 夫 と 熊	63.0× 117.0× 17.0	1960年 (昭和35年)		
9	拾 得	95.0× 60.0× 18.0	1961年 (昭和36年)		
10	寒 山	54.0× 53.5× 15.0	1961年 (昭和36年)		
11	歩 く 壁	52.0× 68.0× 13.0	1965年 (昭和40年)		
12	轉 変	40.0× 61.0× 12.0	1965年 (昭和40年)		
13	カ ラ カ サ の オ バ ケ	39.0× 21.0× 23.0	1974年 (昭和49年)		
14	カ ラ カ サ の オ バ ケ	54.0× 20.5× 20.5	1974年 (昭和49年)		
15	潰 鐘 形 象	56.5× 42.0× 3.0	1977年 (昭和52年)		
16	櫻 姫 東 文 章 一 釣 鐘	43.5× 48.8× 30.5	1977年 (昭和52年)		
17	櫻 姫 東 文 章 一 風 鈴	44.3× 48.8× 25.0	1977年 (昭和52年)		
八 木 一 夫					
1	作 品 51 (雲 の 記 憶)	50.5× 33.0× 23.5	1959年 (昭和34年)		京 都 市 美 術 館
2	作 品 52 (休 息 の 眼)	17.5× 22.0× 13.0	1959年 (昭和34年)	京 都 市 美 術 館	
3	曲	33.5× 28.0× 13.2	1964年 (昭和39年)	京 都 市 美 術 館	
4	秘 話	3.6× 24.5× 16.3	1972年 (昭和47年)		
5	方	17.5× 53.0× 48.0	1978年 (昭和53年)		
6	円	54.3× 55.0× 17.4	1978年 (昭和53年)		
7	Water is …	— × 17.5× 15.5	1978年 (昭和53年)		
鈴 木 治					
1	赤 い と り	32.0× 37.7× 29.8	1973年 (昭和48年)	京 都 市 美 術 館	
2	波 の 馬	54.0× 61.0× 18.0	1974年 (昭和49年)		
3	馬	21.0× 20.0× 10.5	1977年 (昭和52年)		
4	漢 馬	50.5× 35.0× 16.0	1978年 (昭和53年)		
5	鳥 像	13.5× 12.0× 13.0	1978年 (昭和53年)		
6	土 面	49.0× 32.0× 12.5	1980年 (昭和55年)		
7	風 の 道	49.0× 28.5× 12.5	1982年 (昭和57年)		
8	仔 馬	75.3× 36.5× 15.5	1983年 (昭和58年)		
9	雷 児	58.0× 37.0× 12.5	1984年 (昭和59年)		
10	泥 像 7	72.5× 44.0× 16.0	1985年 (昭和60年)		
宮 永 理 吉					
1	四 ツ の 円 筒	29.0× 34.0× 28.0	1970年 (昭和45年)	京 都 市 美 術 館	
2	青 の 面	25.5× 26.5× 11.3	1983年 (昭和58年)		
3	正 方 形 の 折 形	32.5× 30.0× 8.8	1985年 (昭和60年)		

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
4	峡 谷	36.0× 33.5× 46.0	1985年 (昭和60年)	
5	陽 光 を あ び る	36.5× 37.5× 23.5	1986年 (昭和61年)	
6	宇 塔	29.0× 25.7× 20.5	1986年 (昭和61年)	
7	北 方 の 家 屋	24.5× 23.5× 24.5	1986年 (昭和61年)	
林 秀 行				
1	メ ッ セ ン ジ ャ ー	32.0× 18.5× 22.5	1976年 (昭和51年)	
2	歩 行	41.8× 20.0× 22.2	1979年 (昭和54年)	
3	鳥 の シ リ ー ズ・鏡の前で	56.4× 43.0× 13.5	1983年 (昭和58年)	
4	鳥 の シ リ ー ズ・飛 ぶ	60.3× 32.7× 16.0	1986年 (昭和61年)	
5	見 つ め る	45.0× 41.0× 18.0	1986年 (昭和61年)	
6	受 け と め る	57.0× 33.0× 34.0	1986年 (昭和61年)	
三 輪 龍 作				
1	花 子 の 優 雅 な 生 活	17.5× 28.5× 7.5	1967年 (昭和42年)	
2	王 女	12.5× 14.0× 14.5	1973年 (昭和48年)	
3	射	53.8× 39.7× 7.3	1982年 (昭和57年)	
4	花 器 ・ 黒 の 風 景	50.7× 49.0× 8.5	1982年 (昭和57年)	
5	崑 崙 山	41.5× 28.0× 24.7	1984年 (昭和59年)	
6	花 器 ・ 翔	46.7× 51.0× 29.5	1984年 (昭和59年)	
7	花 器 ・ 翔	25.0× 66.7× 21.0	1984年 (昭和59年)	
下 村 良之介				
1～10	銅版画 「梟」		1970年 (昭和45年)	



土と炎の造形 現代の陶芸展

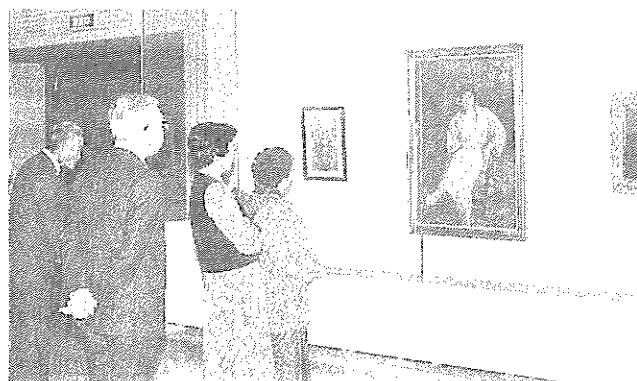
ウ 鳥取県の近代洋画・笹鹿彪

会 期 昭和62年1月6日(火)～3月8日(日)

米子市に生まれ、豊かな色彩と堅固な構成に裏付けられた安定感のある作風で、日展、光風会で活躍した笹鹿彪の代表作「プロメテ」、「帆を干す」など、初期から晩年までの作品51点を展示、紹介した。

出品目録

	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵	備 考
1	(草 花)	41.5× 25.5	1918(大正7)年頃		
2	室 内 に て	116.7× 80.3	1925(大正11)年	鳥取県立博物館	第 6 回 帝 展
3	白 系 露 人	46.0× 38.0		鳥取県立博物館	
4	少 女	117.0× 91.0	1938(昭和13)年	鳥取県立博物館	
5	小 鳥 屋	112.0×145.0	1947(昭和22)年	米子市美術館	現 代 美 術 展
6	フ ラ ガ ナ ン 神 父 と 子 供 た ち	50.0× 90.5	1948(昭和23)年	鳥取県立博物館	
7	毬 藻 と 少 女	117.0× 91.5	1956(昭和31)年	鳥取県立博物館	第 12 回 日 展
8	緑 の 裸 婦	130.0× 97.0			
9	帽 子 の 店	112.5×145.0	1954(昭和29)年	鳥取県立博物館	第 10 回 日 展
10	帆 を 下 す	112.5×157.0	1958(昭和33)年	鳥取県立博物館	第 1 回 新 日 展
11	ブ ロ メ テ	145.5×112.0	1961(昭和36)年	鳥取県立博物館	第 4 回 新 日 展
12	埴 輪 (月)	145.0×112.5	1959(昭和34)年	鳥取県立博物館	
13	風 車 に い ど む (ドンキホーテ)	145.5×112.0	1962(昭和37)年	鳥取県立博物館	第 5 回 新 日 展
14	牛 と 牧 童	135.5×121.0	1963(昭和38)年	米子市美術館	第 6 回 新 日 展
15	子 供 と 風 船	100.0× 80.0	1963(昭和38)年	鳥取県立博物館	
16	港 (境 港)	130.0× 89.5	1964(昭和39)年	鳥取県立博物館	第3回十何会展
17	釣 人	145.5×112.0	1965(昭和40)年	米子市美術館	第51回光風会展
18	若 い 漁 夫	162.0×111.5	1969(昭和44)年	米子市美術館	第55回光風会展
19	押 っ ペ し	162.2×130.3	1966(昭和41)年	鳥取県立博物館	第52回光風会展
20	漁 港 に て	145.5×112.0	1970(昭和45)年	鳥取県立博物館	第 2 回 改 組 日 展
21	小 雨 降 る	145.5×112.0	1969(昭和44)年	鳥取県立博物館	第 1 回 改 組 日 展
22	わ か め 干 す 浜	145.5×112.0	1972(昭和47)年	鳥取県立博物館	第 4 回 改 組 日 展
23	風 景 (犬吠崎燈台)	72.0× 91.0			
24	桜 島	145.0×112.0	1972(昭和47)年		
25	ネ オ ン の 街	162.5×112.0	1973(昭和48)年	米子市美術館	第 5 回 改 組 日 展
26	が ら く た 屋	112.0×145.5	1974(昭和49)年	米子市美術館	第60回光風会展
27	砂 丘 は く れ る	162.0×130.0	1974(昭和49)年	米子市美術館	第 6 回 改 組 日 展
28	屋根の上の小鳥小屋	121.5×136.5	1975(昭和50)年	米子市美術館	第61回光風会展
29	燈 台 遠 望	91.0× 65.0		鳥取県立博物館	
30~51	素 描				



笹鹿 彪展

2 特 別 展

(1) 山陰の大名展

会 期 昭和61年4月26日(土)～5月25日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

天正9年(1581)、羽柴秀吉の鳥取城攻めは、山陰に近世の開幕を告げる序曲であった。関ヶ原の役を経て、徳川氏による天下統一によって山陰の支配者は大きく変った。

強大な中央権力である幕府から領地を与えられた大名は、幕府の制約があるとはいえ、広範な権限をもち、その領地を国家として支配する君主であった。それぞれかつ独自の政治を行い、それに応じて特色ある社会・経済・文化が展開された。

この特別展では、山陰を支配した大名の人物や治績を伝える資料を展示し、地域社会の発展と変遷の一端を紹介した。

関連行事

ア 記念講演会

期 日 昭和61年4月26日(土)

演 題 天下統一と山陰

講 師 大阪大学教授 脇田 修 氏

イ 郷土史講座

(ア) 山陰の大名Ⅰ(鳥取池田家の成立)

期 日 昭和61年5月17日(土)

講 師 学芸課人文係長 福井淳人

(イ) 山陰の大名Ⅱ(大名と茶の湯)

期 日 昭和61年5月24日(土)

講 師 学芸課人文係 主事 坂本敬司

出品目録

◎ 国指定重要文化財 ○ 県指定文化財 ● 市町村指定文化財

品 名	数量	所 蔵 者	品 名	数量	所 蔵 者
群 雄 割 拠			12 吉 川 元 春 画 像	1幅	
1 山名時熙画像(模)	1幅	櫻 威 寺	13 吉川元春所用黒塗筋兜	1頭	
2 ○ 尾 子 経 久 画 像	1幅	定 光 寺	14◎ 織 田 信 長 画 像	1幅	神戸市立博物館
3 ○ 定 光 寺 文 書	1巻	〃	15 織 田 信 長 朱 印 状	1幅	東京大学史料編纂所
4 伝山中鹿之助所用 上 二 間 筋 兜	1頭		16● 羽柴藤吉郎宛織田信長書状	1幅	
5 山 中 鹿 之 助 書	1幅	幸 盛 寺	17 豊 臣 秀 吉 画 像	1幅	堺市立博物館
6 松 浦 氏 文 書	1巻	東京大学史料編纂所	18 山 名 豊 国 画 像	1幅	南 宗 寺
7 ◎ 毛 利 元 就 画 像	1幅	財団法人 防府毛利振公会	19◎ 吉 川 家 文 書	4巻	
8 ○ 毛 利 隆 元 白 画 像	1幅	〃	20● 宮部善祥継潤免許状	1幅	
9 毛 利 輝 元 画 像	1幅	〃	21 鳥取城攻めの図 (「箱田とく寛」)	1葉	鳥取県立博物館
10 毛 利 家 軍 旗	1流	〃	天下統一と山陰		
11◎ 毛 利 家 文 書	4巻	〃	22 豊 臣 秀 吉 画 像	1幅	大阪城天守閣

品名	数量	所蔵者	品名	数量	所蔵者
23 秀吉所用 禽獸争闘文綴織陣羽織(模)	1領	大阪城天守閣	64 堀尾忠晴佩刀鐔	1枚	円成寺
24 豊臣秀吉刀狩条目	1幅	〃	65 松平直政画像	1幅	月照寺
25 豊臣秀吉朱印状	1幅	〃	66 將軍家一字書出	2紙	〃
26 豊臣氏但馬国歳米算用状	1巻	東京大学史料編纂所	67 領知行物写	1紙	〃
27 宮部家文書	2紙	早稲田大学図書館	68 赤羅沙陣羽織	1領	〃
28 南条元統裁許状	2紙	三朝町中津部落	69 松平直政初陣之図	1幅	松江神社
29 木下重堅家家紋入提灯	1張	西方寺	70 松平直政所用 金箔押具型前立	1具	〃
30 吉川広家画像	1幅	〃	71 松平直政所用鉄面頬	1面	〃
31 吉川広家所用黒糸威具足	1領	〃	72 〃 采配	1枝	〃
32 徳川家康画像	1幅	堺市博物館	73 黒羅沙金襴打剣袋	1口	〃
33◎ 徳川家康所用南蛮胴具足	1領	紀州東照宮	74 鉄製胴紋透し簪	1具	〃
34 関ヶ原合戦図屏風	1隻	〃	75○ 亀井茲矩白筆書状	1巻	〃
35● 中村一忠木像	1軀	感応寺	76 〃	1幅	太鼓谷稲成神社
36 中村一氏画像(模)	1幅	東京大学史料編纂所	77 長東大歳大輔 富田左近将監連署状	1幅	〃
37● 横田内膳正村詮像	1幅	妙興寺	78 火縄銃(大・小)筒付	2挺	津和野神社
38 横田内膳裁許状外	2紙	江府町久連部落	79 フラン機砲	1門	〃
39 天球院殿繁窓寿栄画像(模)	1幅	天球院	80 亀井茲矩将来昌宋壺	1口	永門寺
40 山崎家盛位牌	1基	龍徳寺	81 馬具	1式	太鼓谷稲成神社
41 山崎家家紋屋根かざり	1対	〃	82 お庭焼花生	1口	津和野町教育委員会
42 山崎家系図	1冊	〃	83 亀井家奉納銀装太刀	1振	大神山神社
43 大坂冬の陣合戦屏風(模)	1隻	東京国立博物館	84○ 亀井茲矩将来染色品	1枚	譲伝寺
44 大坂夏の陣図合戦図屏風(模)	1隻	大阪城天守閣	85 行列道具(馬駿・長柄・熊手)	6本	黒野神社
幕藩体制の確立			86 行列道具(大白鳥・小白鳥・ 黒鳥毛・白熊 二本道具)	6本	出石町教育委員会
45 仙石政辰所用 色々威二枚胴具足	1領	出石町教育委員会	87 福知山城主朽木家行列絵図	1巻	〃
46 仙石秀久画像	1幅	〃	88 大名行列図額	1額	出石町教育委員会
47 刀筒	1筒	〃	89 亀井隠岐守宿札	1枚	津和野町教育委員会
48 永楽銭紋散鞍	1具	〃	90 池田家参勤交替日記	4冊	鳥取県立博物館
49 塗空徳	1点	〃	91 道中図記	1帖	〃
50 土俵空徳	1点	〃	92 京極家女乗物(駕籠)	1挺	豊岡市立郷土資料館
51 經	1本	〃	鳥取池田家		
52 丸に無の字紋旗印	1流	〃	93 織田信長朱印状	1通	岡山大学
53 領知行目録	2紙	〃	94 豊臣秀吉朱印状	1通	〃
54 仙石騷動占記録	2冊	〃	95 豊臣秀吉朱印状	1通	〃
55 京極家伝来八間筋兜	1頭	豊岡市立郷土資料館	96 豊臣秀次黒印状	1通	〃
56 〃 鎧	1具	〃	97 徳川家康書状	4通	〃
57 〃 刀筒(大・小)	2筒	〃	98 徳川秀忠黒印状	1通	〃
58 山名豊国像	1幅	東林院	99 徳川秀忠白筆書状	1通	〃
59 山名矩豊夫妻の図	1幅	法雲寺	100 池田輝政白筆書状	1通	〃
60 山名家奉納馬具	1式	黒野神社	101 池田忠雄白筆書状	1通	〃
61 堀尾忠晴画像(模)	1幅	東京大学史料編纂所	102 芳烈公御手留	5冊	〃
62 堀尾忠晴所持陣中本尊	1軀	円成寺	103 小牧長久手合戦図屏風	1隻	大阪城天守閣
63 豊臣秀吉感状(天正10年)	1幅	〃	104 徳川家康画像	1幅	〃

[illegible]

品名	数量	所蔵者	品名	数量	所蔵者
185 朽木昌綱筆「遠磨二銭」	1幅	福知山市文化資料館	216◎ 後三年合戦絵詞	3巻	東京国立博物館
186 朽木昌綱著「西洋銭譜」	1冊	京都府立 福知山高等学校	217 芳心院消息	1幅	鳥取県立博物館
187 〃「泰西輿地図説」	6冊	〃	218 輪光院筆和歌懐紙	1幅	〃
188 銘葉額	1額	〃	219 桂香院筆二字書「老松」	1幅	〃
189 葉子型	3点	〃	220 法鏡院筆二行書	双幅	財団法人 防府毛利重公会
190 獅子牡丹葵蒔絵調度角赤手箱	1台	岡山美術館	221 毛利斉熙・法鏡院筆手本	2帖	〃
191 獅子牡丹葵紋蒔絵調度 鏡箱 および鏡	1台面	〃	幕末の大名		
192 獅子牡丹葵紋蒔絵調度文箱	2台	〃			
193 山名家伝来葵紋膳具	1式	法雲寺	222 池田慶徳・徳川慶喜画像	双幅	鋼路鳥取神社
194 堀尾家伝来膳具	1式	円成寺	223 徳川斉昭肖像画	1点	財団法人本府明徳会
195 亀井家伝来膳具	1式	太鼓谷稲成神社	224 徳川斉昭作農夫像	1軀	〃
196 亀井家伝来硯箱・料紙箱	2台	〃	225 徳川斉昭筆鷹図	1幅	〃
197 池田光政幼筆和歌	1紙	岡山美術館	226 徳川斉昭筆講武即事の詩	1幅	〃
198 池田光政筆和歌	1幅	〃	227 反射加模写	1基	〃
199 池田光政元具試筆	1幅	岡山県立博物館	228 望遠鏡(近景丸)	1具	〃
200 池田光伸筆竹図	1幅	鳥取県立博物館	229 烈公遺愛兵庫鎖太刀	1振	〃
201 池田光伸筆和歌色紙	1幅	〃	230 徳川慶喜筆一字書「誠」	1幅	〃
202 池田綱清筆鷹図	1幅	〃	231 〃一行書	2幅	〃
203 池田吉泰和歌扇面	1幅	〃	232 徳川斉昭書状	2幅	鳥取県立博物館
204 池田宗泰和歌短冊	1幅	〃	233 池田慶徳書	1幅	〃
205 池田重寛筆「学古人官」	1巻	〃	234 松平定安肖像画	1幅	松江城山公園 管理事務所
206 池田治道筆「有年」	1幅	〃	235 松江藩知事任命書	1紙	月照寺
207 池田斉邦筆二行書	1幅	〃	236 第二八雲丸之図	1幅	〃
208 池田斉稷筆和歌懐紙	1幅	〃	237 亀井茲監所用陣笠陣羽織	1領	太鼓谷稲成神社
209 池田斉調筆「花満錦城春」	1幅	〃	238 西園寺山陰道鎮撫使宿札	1札	〃
210 池田慶行筆「宇治川之図」	1幅	〃	239 鳥取池田家文書	10点	鳥取県立博物館
211 池田慶榮筆「非学不成事」	1幅	〃	240 羽柴秀吉禁制	2幅	〃
212 池田定常筆「静軒」	1額	〃	241 金小札紅糸威具足	1領	枵宿神社
213 池田定常著 「池田家々譜集成」(写)	5冊	〃	242 揚羽蝶紋付雲龍図陣羽織	1領	〃
214 池田定常著 「思い出草」(写)「武蔵名所考」	2点	鳥取県立鳥取図書館	243 竹に菊水紋金蒔絵挟箱	1箱	〃
215 能面(鳥取池田家旧蔵)	6面	井伊家史料保存会	244 揚羽蝶紋馬標	1本	〃
			245 木瓜揚羽蝶紋陣笠	1笠	〃



山陰の大名展

(2) 日本近代洋画の歩み ～描かれた人間像～

会 期 昭和61年10月7日(火)～11月3日(月)

会 場 第1展示室、第2展示室

近代日本の洋画家たちは、西洋絵画のさまざまな影響を受けながら、その思想や表現を修得しようと絶えざる努力を積みかさねる一方、わが国の永い絵画の歴史と美意識を受け継いで、いかに日本人としての内面性を描くかを課題としてきた。

この特別展では、わが国の1世紀にわたる造形の歴史を、人物画や肖像画をとおして紹介した。

関連行事

ア 記念講演会

期 日 昭和61年10月18日(土)

演 題 近代日本洋画にみる人間像

講 師 美術評論家 木島俊介 氏

イ 土曜講座(郷土の近代洋画)

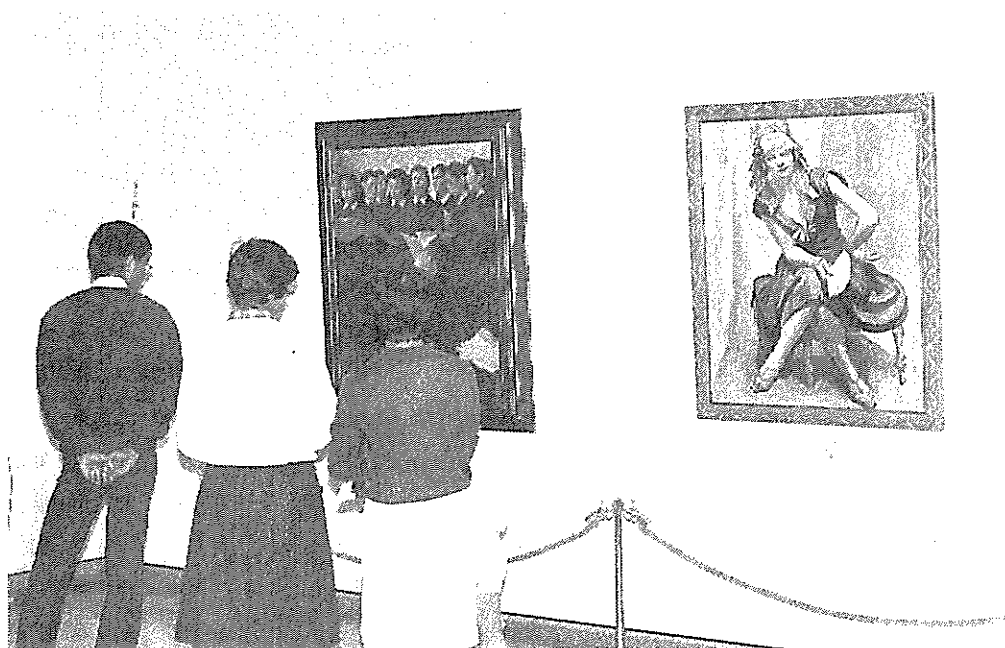
期 日 昭和61年11月1日(土)

講 師 学芸課美術係 主任 太田垣 哲

出品目録

作家名	作 品 名	所 蔵	作家名	作 品 名	所 蔵
1 平賀 源内	西 洋 婦 人 図	神戸市立博物館	26 萬 鉄五郎	少女(校服のとみ子)	岩手県立博物館
2 司馬 江漢	異国風景人物図	神戸市立博物館	27 椿 貞雄	画 家 自 像	西宮市大谷記念美術館
3 チャールズ・ワグマン	鈴 亮	東京国立博物館	28 椿 貞雄	髪 す き 図	東京国立近代美術館
4 チャールズ・ワグマン	婦 人 か ね 子 像	東京国立博物館	29 山下新太郎	読 書	ブリヂストン美術館
5 高橋 由一	上 杉 鷹 山 像	東京国立博物館	30 梅原龍三郎	脱 衣 婦	ブリヂストン美術館
6 高橋 由一	初 代 玄 々 堂 像	神戸市立博物館	31 梅原龍三郎	豹 裸 婦	下関市立美術館
7 浅井 忠	中 沢 岩 太 博 士 像	京都工芸繊維大学	32 梅原龍三郎	横 臥 裸 婦	西宮市大谷記念美術館
8 浅井 忠	武士山狩下絵習作(上)	京都工芸繊維大学	33 小出 楯重	N 婦 人 像	愛知県文化会館
9 鹿子木孟郎	婦 人 像	京都工芸繊維大学	34 小出 楯重	裸 女 立 像	浜松市立美術館
10 鹿子木孟郎	少 女 像	京都工芸繊維大学	35 村山 槐多	自 画 像	大阪市立美術館
11 黒田 清輝	ブ レ ハ の 少 女	東京国立文化財研究所	36 村山 槐多	の ら く ら 者	
12 黒田 清輝	自 画 像	東京国立文化財研究所	37 中村 彝	帽子を被る自画像	ブリヂストン美術館
13 久米桂一郎	林 檜 拾 い	久米美術館	38 中村 彝	友 の 像	
14 久米桂一郎	姉 の 像	久米美術館	39 金山 平三	靴 下 を は く 女	兵庫県立近代美術館
15 久米桂一郎	秋 景	久米美術館	40 金山 平三	秋	兵庫県立近代美術館
16 岡田三郎助	萩	兵庫県立近代美術館	41 牧野 虎雄	少 女	東京都美術館
17 和田 三造	新 聞 を 読 む 男	姫路市立美術館	42 牧野 虎雄	庭の少女<中庭>	東京都美術館
18 和田 三造	少 女 像	但 陽 信 用 金 庫	43 牧野 虎雄	當 世 洋 装 婦 人	東京都美術館
19 藤島 武二	チ ョ チ ャ ラ	ブリヂストン美術館	44 青山 熊治	老 婦 人 像	但 陽 信 用 金 庫
20 藤島 武二	匂 い	東京国立近代美術館	45 青山 熊治	首 飾 り の 女	但 陽 信 用 金 庫
21 吉木 繁	大 穴 牟 知 命	石 橋 美 術 館	46 里見 勝蔵	女	京都市美術館
22 岸田 劉生	画 家 の 妻	ブリヂストン美術館	47 前田 寛治	恩 師 の 像	鳥取県立博物館
23 岸田 劉生	自 画 像	下関市立美術館	48 前田 寛治	立 て る 子 供	鳥取県立博物館
24 岸田 劉生	村 娘 之 図(1)	下関市立美術館	49 前田 寛治	彫 刻 家 の 肖 像	
25 萬 鉄五郎	雲のある自画像	岩手県立博物館	50 前田 寛治	勞 働 者	

作家名	作品名	所 蔵	作家名	作品名	所 蔵
51 前田 寛治	縋 帶 を し た 男	鳥 取 県 立 博 物 館	75 藤田 嗣治	魚 河 岸	下 関 市 立 美 術 館
52 前田 寛治	フ ル タ ー ニ ュ の 女		76 藤田 嗣治	パ リ の マ ド レ ー ス	下 関 市 立 美 術 館
53 前田 寛治	西 洋 婦 人 像	鳥 取 県 立 博 物 館	77 清水 登之	蹄 鉄	三 重 県 立 美 術 館
54 前田 寛治	C 嬢		78 清水 登之	カ フ ェ	東 京 都 美 術 館
55 前田 寛治	少 女 と 子 供	鳥 取 県 立 博 物 館	79 清水 登之	水 兵 の い る カ フ ェ	東 京 都 美 術 館
56 前田 寛治	福 本 和 夫 像	鳥 取 県 立 博 物 館	80 国吉 康雄	夜 明 け が く る	岡 山 県 総 合 文 化 セ ン タ ー
57 前田 寛治	棟 梁 の 家 族	鳥 取 県 立 博 物 館	81 石垣栄太郎	街	和 歌 山 県 立 近 代 美 術 館
58 前田 寛治	赤 い 帽 子 の 少 女	三 重 県 立 美 術 館	82 石垣栄太郎	キ ュ ー パ 島 の 反 乱	和 歌 山 県 立 近 代 美 術 館
59 前田 寛治	白 い 服 の 少 女	鳥 取 県 立 博 物 館	83 安井曾太郎	安 部 能 成 像	東 京 国 立 近 代 美 術 館
60 児島善三郎	レ ー ス を 着 る 女	西 宮 市 大 谷 記 念 美 術 館	84 中西 利雄	人 物 (和 装)	呉 市 立 美 術 館
61 児島善三郎	黄 色 い 花 の 枕 の 裸 婦	西 宮 市 大 谷 記 念 美 術 館	85 中西 利雄	マ ド モ ア ゼ ル S 嬢	広 島 県 立 美 術 館
62 児島善三郎	立 て る ソ ニ ヤ	神 奈 川 県 立 近 代 美 術 館	86 中西 利雄	白 い 服 の 姉 妹	呉 市 立 美 術 館
63 川口 軌外	ボ ヘ ミ ア ン	和 歌 山 県 立 近 代 美 術 館	87 小磯 良平	ス ペ イ ン の 女	兵 庫 県 立 近 代 美 術 館
64 川口 軌外	地 維	和 歌 山 県 立 近 代 美 術 館	88 小磯 良平	斉 唱	兵 庫 県 立 近 代 美 術 館
65 川口 軌外	少 女 と 貝 殻	和 歌 山 県 立 近 代 美 術 館	89 松本 竣介	街 に て	下 関 市 立 美 術 館
66 海老原喜之助	母 子 像	浜 松 市 立 美 術 館	90 松本 竣介	自 画 像	東 京 都 美 術 館
67 海老原喜之助	靴 屋	北 九 州 市 立 美 術 館	91 内田 巖	イ ギ リ ス の 女 A	神 奈 川 県 立 近 代 美 術 館
68 中山 巍	窓 辺 の 女	岡 山 県 総 合 文 化 セ ン タ ー	92 内田 巖	テ レ ー ス の 像	東 京 国 立 近 代 美 術 館
69 中山 巍	室 内 家 婦	岡 山 県 総 合 文 化 セ ン タ ー	93 内田 巖	平 和 (ラ・ペ)	東 京 国 立 近 代 美 術 館
70 三岸好太郎	二 人 の 道 化	三 重 県 立 美 術 館	94 東郷 青児	バ ッ ド	東 郷 青 児 美 術 館
71 北脇 昇	変 生 像 観 相 学 シ リ ー ス	京 都 市 美 術 館	95 東郷 青児	窓	東 郷 青 児 美 術 館
72 藤田 嗣治	腕 を あ げ る 裸 婦	西 宮 市 大 谷 記 念 美 術 館	96 黒田重太郎	梳 る 女	京 都 市 美 術 館
73 藤田 嗣治	ラ マ と 四 人 の 人 物	三 重 県 立 美 術 館	97 伊谷 賢蔵	天 橋 小 鳥 の 市	京 都 市 美 術 館
74 藤田 嗣治	秋 田 の 娘	下 関 市 立 美 術 館			



日本近代洋画の歩み展

3 催 物 展

(1) 自然資料展

会 期 昭和61年8月1日(金)～8月28日(木)

会 場 第2展示室

われわれの身近に見られる動物・植物・岩石・化石等の自然資料を展示・解説した。また、児童・生徒の夏休みの自主学習に役立つよう学習室(学習コーナー)を設置して、利用の便を図った。

主な展示内容

(1) 動物コーナー

野鳥——郷土の野鳥 40点

貝——郷土の貝類 62点

カニ——亜熱帯産寄贈甲殻類 37点

昆虫——郷土の昆虫 631点

(2) 植物コーナー

おし葉——種子植物・シダ類・そう類・コケ類 325点

樹 幹——樹幹標本 5点

レプリカ——種子植物・コケ類 7点

(3) 地学コーナー

郷土の岩石——県内産のカコウ岩類・安山岩類他 20点

寄贈鉱物——馬淵氏寄贈鉱物 20点

郷土の化石——植物化石(三朝町、佐治村、辰巳峠産) } 67点
動物化石(鳥取層群、多里層産)

外国産化石——アンモナイト他 10点

めずらしい化石——昆虫化石(写真)

関 連 行 事

(1) 昆虫標本の作り方 8月5日(火)

(2) おし葉標本の作り方 8月5日(火)

(3) 地質見学会(岩美町浦富周辺) 8月10日(日)

(4) 標本を調べる会 8月22日(金)



自然資料展



自然資料展

(2) 特別陳列

ア 古刀の美

会 期 昭和61年7月16日(水)～8月3日(日)

日本刀は、歴史の中で重要な役割を持ち、独特の鍛錬による固有の美を見せながら発展してきた。

当館では、昭和50年5月、特別展「郷土の名刀」で伯耆安綱以降の名刀を紹介したが、今回は直刀から湾刀さらに豪壮な鎌倉期の刀剣を展示し、古刀の美しさを紹介した。

関連行事

研磨実演

7月16日(水) 下地の工程

7月17日(木) 仕上げの工程

7月20日(日) 〃

講師 研師 森井 徳訓 氏(米子市在住)

出品目録

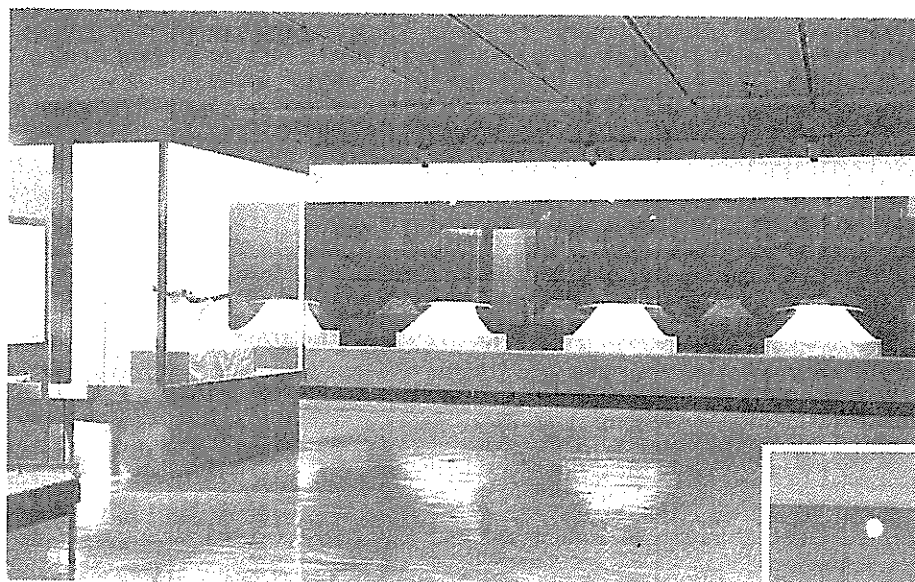
<出陣太刀・刀>		時 代		長 さ		所 蔵
1	重要文化財 直刀	奈良時代		刃長62.2cm		総社市個人蔵
2	刀 無銘 古伯耆	平安中期		刃長70.3cm	反り1.8cm	
3	太刀 銘「正恒」	平安末期	古青江（備中）	刃長73.1cm	反り2.5cm	岡山県立博物館蔵
4	太刀 銘「包安」	鎌倉中期	古青江（備中）	刃長67.0cm	反り2.4cm	
5	刀 無銘 伝則房	鎌倉中期	福岡一文字派（備前）	刃長72.0cm	反り2.4cm	
金象嵌銘						
（表）今大君幕下所常佩之御刀也延宝庚申11月13日						
召正俊干御前恩命之余御手同賜之						
（裏）古川城主従四下待従筑前守堀田氏紀正俊配載之						
6	刀 無銘 伝長光	鎌倉末期	長船派（備前）	刃長69.8cm	反り2.2cm	岡山県立博物館蔵
7	太刀 銘「備前国長船景(政)」	鎌倉末期	長船派（備前）	刃長74.2cm	反り3.0cm	
8	太刀 銘（表）南無八幡大菩薩南無観世音	備前国住人左兵衛尉氏依造				
（裏）嘉元3年10月吉日						
南無春日大明神南無多聞天王						
		鎌倉末期		刃長80.5cm	反り2.7cm	
9	太刀 銘「雲次」	鎌倉末期	雲派（備前）	刃長66.7cm	反り1.7cm	岡山県立博物館蔵
10	太刀 銘「宗氏造」	鎌倉末期	岩戸一文字派（備前）	刃長72.2cm	反り3.0cm	
11	太刀 銘「景則」	鎌倉末期	古吉井（備前）	刃長71.8cm	反り2.2cm	岡山県立博物館蔵
12	刀 無銘 当麻	鎌倉末期	当麻派（大和）	刃長70.3cm	反り1.2cm	
13	刀 無銘 貞宗	南北朝期	相州（相模）	刃長68.4cm	反り1.2cm	
14	刀 無銘 伝兼光	南北朝期	長船派（備前）	刃長69.4cm	反り1.8cm	

- 15 刀 銘「備州住正広」南北朝期 古三原（備後）刃長72.4cm 反り1.6cm
 16 刀 無銘 伝義景 南北朝期 長義派（備前）刃長74.5cm 反り1.7cm
 17 刀 銘 （表）備中国住人石河左衛門尉幸久作
 （裏）永正7年8月吉日

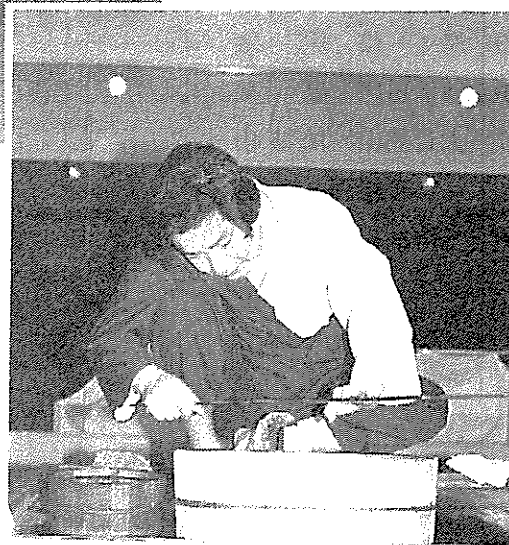
室町中期 刃長71.4cm 反り2.4cm

<拵>	時代
1 青貝微塵九曜紋蒔絵鞘 兵庫鎖 大太刀拵	江戸末期
2 黒呂色景蒔絵研鞘打刀拵（付島津家家紋）	江戸末期
3 黒呂色鞘打刀拵（延宝8年將軍綱吉より堀田正俊が拝領）	江戸初期

<樗谿神社宝刀>	長 さ
1 太刀 銘（表）信濃大掾藤原忠国	
（裏）慶安2年8月吉日因州於鳥取作之	刃長82.6cm 反り1.3cm
2 太刀 銘は上に同じ	刃長95.8cm 反り2.0cm
3 太刀 銘は上に同じ	刃長85.3cm 反り2.5cm
4 太刀 銘（表）伯耆国倉吉住人播磨大掾藤原正綱	
（裏）奉寄進因州東照宮宝前所願成就所慶安3年庚寅9月吉日	刃長105.3cm 反り1.6cm



古刀の美展



古刀の美展 研磨実演

イ 石谷コレクション展

会 期 昭和61年10月17日(金)～11月16日(日)

昭和54年、石谷貞彦氏(智頭町)寄贈の150点余の資料には、仏画、宸翰・消息をはじめ、和歌・漢詩文、狩野派や文人派の絵画、近世郷土画家の作品など、鎌倉時代から明治時代にいたる絵画、書跡に中国清時代の書、画が含まれている。

当館では、これを石谷コレクションと名づけ、随時公開しているが、今回は、絵画資料を中心に展示、紹介した。

出品目録

	作 者 題 名	年 代	形 状	大 き さ (cm)	備 考
	＜古画・仏 画＞				
1	風 天 像	桃山～江戸	紙本著色 軸 装	103.3× 39.6	
2	聖 賢 像	明 末	絹本著色 〃	126.0× 57.5	
3	菊 慈 童 之 図	江 戸	紙本著色 〃	99.3× 33.7	
4	智海和尚 不 動 尊 像	室 町	紙本墨画 〃	79.5× 40.0	
5	雲室上人 隻 履 達 磨 図	江 戸	紙本淡彩 〃	134.0× 47.5	
	＜絵画・狩野派＞				
6	狩野益信 梅ニ寿老人図	江 戸	絹本著色 軸 装	97.7× 32.0	
7	狩野常真 老子・孔子図(双幅)	〃	〃 〃	各 94.0× 43.0	
8	狩野邦信 布 袋 図	〃	〃 〃	31.5× 57.6	
9	狩野幸信 梅 二 鶴 図	〃	〃 〃	97.0× 42.5	
10	狩野有信 山 水 富 士 図	〃	〃 〃	35.0× 60.0	
11	狩野有信 洛中洛外図屏風	〃	紙本著色 六曲一双	各 127.0× 302.5	
	＜絵画・諸 家＞				
12	原 在照 関 羽 図	江戸～明治	絹本著色 軸 装	117.0× 38.5	
13	遊女大橋 遊 女 図	江 戸	紙本著色 〃	97.8× 34.0	
14	柴田義董 恵 比 寿 之 図	〃	紙本淡彩 〃	113.0× 26.0	
15	岸 禮 虎 之 図	〃	絹本墨画 〃	95.0× 35.0	
16	鍊翁祖門 墨 蘭 図	江戸～明治	紙本墨画 〃	45.7× 54.0	
17	大倉笠山 米 法 山 水 図	江 戸	〃 〃	134.0× 28.5	
	＜絵画・郷土派＞				
18	土方稲嶺 ◎東方朔図	江 戸	紙本著色 軸 装	99.5× 41.0	県 指 定 保 護 文 化 財 県 指 定 保 護 文 化 財
19	〃 ◎雲 龍 図(双幅)	〃	紙本墨画 〃	各 134.0× 57.5	
20	黒田稲皐 雲 龍 図	〃	絹本墨画 〃	64.2× 86.5	
21	〃 千 匹 鯉 図	〃	絹本著色 〃	53.0× 72.5	
22	小畑稲升 鯉 魚 之 図	江戸・明治	〃 〃	111.0× 36.3	
23	正塙適処 山 水 図	〃	絹本淡彩 〃	42.0× 56.5	
24	〃 吉野松島図屏風	〃	紙本著色 六曲一双	各 158.3× 367.0	
25	橋本秀峰 四 季 図 屏 風	〃	〃 〃	各 156.5× 272.5	飯田年平 賛

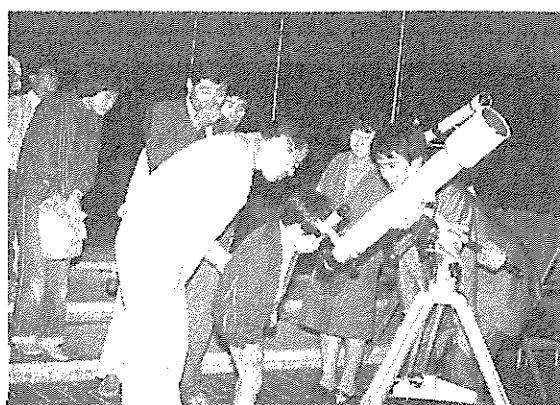
4 教育普及活動

(1) 巡 回 展

展 覧 会 名	会 場	会 期	入場者数	備 考
昆虫の世界	日野町山村開発センター	61年6月25日～6月29日	1,535 ^人	自然への関心が 高まるよう昆虫 の興味ある世界 を紹介した。
	江府町日輪閣	7月2日～7月8日	553	
	日吉津村中央公民館	7月11日～7月16日	1,193	
	智頭町中央公民館	8月7日～8月11日	889	
合 計			4,170	展示点数 117点

(2) 天体観望会、見学会等

事 業 名	期 日	場 所	参加人数	備 考
月 食 を 見 る 会	61年4月24日	博 物 館 前 庭	70 ^人	
春の星を見る会	5月10日	〃	20	
野鳥の声を聞く会	5月11日	鳥取市楞谿公園	113	
史跡を訪ねる会	5月11日	鳥取市内芳心寺ほか	40	
夏の星を見る会(1)	7月26日	博 物 館 前 庭	70	
〃 (2)	8月9日	〃	53	
地質見学会～山陰海岸とその周辺～	8月10日	岩 美 町	35	
キノコを調べる会	10月4日	鳥取市久松山二ノ丸周辺	143	
わかとり国体記録映画上映会	10月25日	博 物 館 講 堂	50	
秋の星を見る会	10月25日	博 物 館 前 庭	61	
合 計			655	



星を見る会



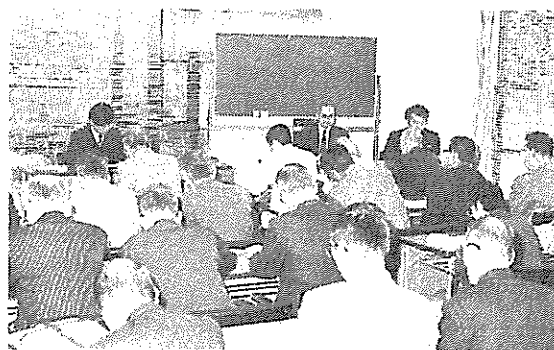
地質見学会

(3) 講 座

事 業 名	期 日	内 容	参加人数
土 曜 講 座	61年5月17日	山陰の大名（鳥取池田家の成立）	80人
	5月24日	〃 （大名と茶の湯）	80
	8月5日	自 然 講 座（昆虫標本の作り方）	41
	8月5日	〃 （おし葉標本の作り方）	46
	9月20日	郷土の古美術（上方桶嶺）	51
	11月1日	郷土の近代洋画	10
	11月22日	現代の陶芸	10
自 然 講 座	8月22日	標本の調べ方	141
郷 土 史 講 座	10月26日	近世農村社会の諸問題	60
合 計			519



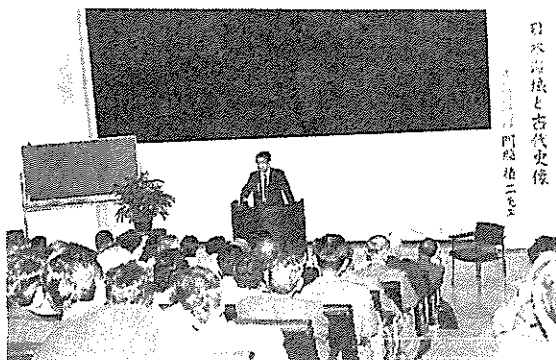
自然講座・標本の調べ方



郷土史講座

(4) 講 演 会

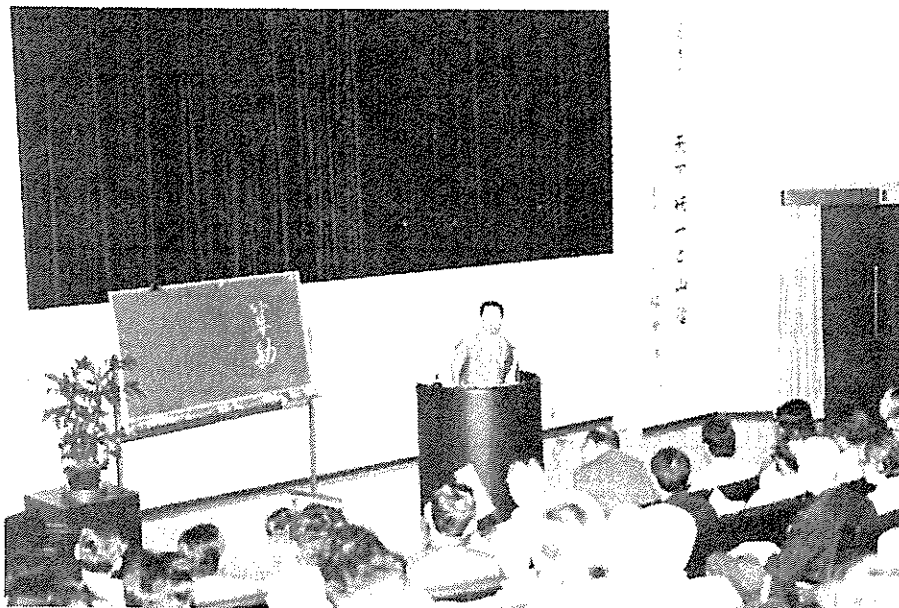
演 題	講 師	期 日	参加人数
天 下 統 一 と 山 陰	大阪大学文学部教授 文学博士 脇田 修	61年4月26日	218人
日 本 海 域 と 古 代 史 像	京 都 府 立 大 学 学 長 文学博士 門脇 禎二	10月11日	200
近代日本洋画に見る人間像	美 術 評 論 家 木島 俊介	10月18日	83
合 計			501



講演会・日本海域と古代史像



講演会・近代日本洋画に見る人間像



講演会・天下統一と山陰

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規 格	貸出期間	貸 出 し 先	貸 出 し の 目 的
鳥 取 県 年 中 行 事 写 真 パ ネ ル	32		61. 6. 4 ～61. 6. 17	岩 美 町 中 央 公 民 館	昭 和 6 1 年 度 春の盆栽展及び特別展
男の像（絵画）ほか	2	油 彩 前田寛治作	61. 9. 7 ～61. 10. 28	東京都坂橋区立美術館	東京の消像1920'S やさし恋と労働歌の街展
銅 鐸	1		61. 9. 17 ～61. 11. 12	鳥 根 県 風 土 記 の 丘	鐸 と 剣 と 矛 展
パ ネ ル(上味野初午)	2		61. 9. 24 ～61. 9. 30	鳥 取 市 文 化 セ ン タ ー	郷 土 民 俗 文 化 展
少女座像(絵 画)	1	油 彩 前田寛治作	61. 9. 29 ～61. 11. 10	東 京 都 日 動 画 廊	借用資料の代品展示
松 喰 鶴 鏡	1	宇 部 神 社 経塚出土	61. 10. 9 ～61. 12. 13	福 井 県 立 博 物 館	古 鏡 の 美 展
化 石	25	日 南 町 産出化石	61. 10. 22 ～61. 10. 28	日 南 町 立 武 道 館	86日南ふる里まつり
民俗行事写真パネル	40		61. 11. 25 ～61. 12. 5	岸 本 町 教 育 文 化 会 館	第1回きしもときないや祭 民 俗 資 料 展
小 庭(絵 画)	2	油 彩 香田勝太作	61. 12. 23 ～62. 3. 17	米 子 市 美 術 館	香田勝太と木山義喬展
立てる子供(絵 画)ほか	4	油 彩 前田寛治作	62. 3. 26 ～62. 3. 20	宮 城 県 美 術 館 愛 媛 県 美 術 館	中野和高とその時代展
合 計	110				

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	山陰沖海底から産出するナウマンゾウ化石の調査研究
	山陰海岸（岩美町付近）の地質の調査研究
地学動物	特別展「恐竜と鳥獣の歴史」関係資料の調査研究
植物	隠花植物（シダ類）目録作成
	鳥取市街地のコケの調査研究
	淡水産コツブムシ <i>Gnorimosphaeroma</i> SP. の生態学調査研究
歴史	特別展「山陰の大名」関係資料の調査研究
	鳥取藩家臣団形成に関する調査研究
	森田家資料の調査研究
民俗	花籠祭の調査研究
	年中行事の調査研究
	諸職に関する調査研究
考古	古代漁具の調査研究
	古代銅印の調査研究
美術	郷土の古美術資料（仏像・仏画・刀剣・陶磁器・染色品等）の調査研究
	郷土の近世・近代美術資料の調査研究

(2) 研究報告書等の刊行

刊行物の名称	発行時期	発行部数	規格	ページ数
博物館だより No. 33	61年 6 ^月	2,000 ^部	B 5	4 ^{ページ}
鳥取県立博物館年報 No. 14	7	500	〃	47
郷土と博物館第32巻第1号	9	1,000	A 5	28
博物館だより No. 34	9	2,000	B 5	4
鳥取県立博物館所蔵目録36 （隠花植物目録）	12	500	A 5	20
博物館だより No. 35	62年 1	2,000	B 5	4
郷土と博物館第32巻第2号	3	1,000	A 5	32
昭和61年度 資料調査報告書	3	300	B 5	24
鳥取県立博物館研究報告書第24号	3	500	〃	72
博物館だより No. 36	3	2,000	〃	4